

## Ⅱ 主な事業別の状況

### 1. 上水道事業

#### (1) 施設及び業務の状況

決算調査の対象となったのは、28事業（前年度比増減なし）である。年間総配水量は対前年度比1.9%減の139,848.50千 $\text{m}^3$ であり、給水人口は対前年度比1.0%減の127万2千617人となっている。これを行政区域内人口に対する普及率でみると95.1%、計画給水人口に対する普及率でみると、86.9%となっている。また、有収率は86.3%で前年度比で増減なしとなっている。有収率を規模別にみると、給水人口15万人以上の団体（3団体）が89.1%で最も高い有収率となっている。〔第9表〕

第9表 施設及び業務概要

(単位：人、%)

項 目	規 模 別					合 計
	15万人以上	5万人以上 15万人未満	3万人以上 5万人未満	1.5万人以上 3万人未満	1.5万人未満	
行政区域内人口 (A)	813,257	184,622	112,788	65,615	161,648	1,337,930
計画給水人口 (B)	888,925	198,218	114,170	64,785	197,672	1,463,770
現在給水人口 (C)	791,937	174,061	104,710	59,526	142,383	1,272,617
行政区域内人口に対する普及率(C) / (A)	97.4	94.3	92.8	90.7	88.1	95.1
計画給水人口に対する普及率 (C) / (B)	89.1	87.8	91.7	91.9	72.0	86.9
有 収 率	89.1	83.8	83.9	84.1	77.9	86.3

(注) 用水供給事業を除く。

#### (2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は111.3%で、前年度に比べ0.7ポイント減となっており、収益費用別では総収益が1.5%減、また総費用が0.8%減となっている。

単年度収支では、純損失を生じた事業が4事業（前年度3事業）となっており、金額的にも6,156万7千円（前年度1億8,046万8千円）と赤字が減となっている。

累積欠損金は3億1,753万8千円で、前年度3億4,963万6千円より3,209万8千円（9.2%）の減となっている。〔第10表〕

第10表 決算状況の推移

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増 減 率 (25/24)
		21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	25 年 度	
項 目							
総 収 益		31,984,578	32,032,110	31,213,996	31,893,417	31,429,084	△ 1.5
うち 営 業 収 益 (A)		30,276,783	30,420,512	29,720,575	30,166,041	30,019,142	△ 0.5
総 費 用		28,893,296	28,262,091	27,799,422	28,467,682	28,242,465	△ 0.8
純 利 益		3,100,920	3,773,457	3,439,576	3,606,203	3,248,186	△ 9.9
純 損 失 (B)		9,638	3,438	25,002	180,468	61,567	△ 65.9
累 積 欠 損 金 (C)		540,533	377,314	255,268	349,636	317,538	△ 9.2
不 良 債 務 額 (D)		49,685	37,867	47,782	0	0	0.0
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	0.0	0.0	0.1	0.6	0.2	
	(C) / (A)	1.8	1.2	0.9	1.2	1.1	
	(D) / (A)	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	
事 業 数 (E)		29	27	27	28	28	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		1	1	1	3	4	33.3
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)		4	3	3	3	3	0.0
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)		1	1	1	0	0	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		3.4	3.7	3.7	10.7	14.3	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		13.8	11.1	11.1	10.7	10.7	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)		3.4	3.7	3.7	0.0	0.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		110.7	113.3	112.3	112.0	111.3	

(注) うち営業収益 (A) は受託工事収益を除く。

### (3) 資本的収支の状況

資本的収入は、95億8,379万7千円で、前年度104億2,435万6千円より8.1%減少し、資本的支出は211億5,590万で、前年度232億7,688万8千円より9.1%減となっている。

資本的収入の財源のうち企業債が55億9,350万円で、前年度65億7,360万円より14.9%減少し、内部資金等の補てん財源は対前年度比10.4%減の115億1,810万3千円（前年度128億5,253万2千円）となっている。〔第11表〕

第11表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (25 / 24)	
		24年度	25年度		
資本的支出	建設改良費	11,977,646	12,130,478	1.3	
	企業債償還金	11,087,787	8,998,980	△ 18.8	
	その他	211,455	26,442	△ 87.5	
	計	23,276,888	21,155,900	△ 9.1	
財源内訳	内部資金	12,852,532	11,518,103	△ 10.4	
	外部資金	10,424,356	9,583,797	△ 8.1	
	うち	企業債	6,573,600	5,593,500	△ 14.9
		他会計出資金	1,069,364	1,178,317	10.2
		他会計負担金	26,871	50,493	87.9
		他会計借入金			
		他会計補助金	169,972	145,464	△ 14.4
	調整項目				
	財源不足額	0	54,000	皆増	
	計	23,276,888	21,155,900	△ 9.1	

### (4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は1,190.5%と前年度（801.8%）より388.7ポイント増加している。〔第12表〕

第12表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目 流動比率	一時借入金の状況	
		一時借入金	営業収益に対する割合
21年度	843.8	20,000	0.0
22年度	1,208.4	33,000	0.1
23年度	854.3	80,000	0.3
24年度	801.8	0	0.0
25年度	1,190.5	30,000	0.1

## 2. 交通事業

### (1) 施設及び業務概要

交通事業は、青森市及び八戸市においてバス事業が行われている。一般乗合分の在籍車両は270両で、前年度（282両）に比べ12両減となっている。輸送人員は年間16,081千人、一日当たり44,058人で、前年度に比べ一日955人増となっている。〔第13表〕

第13表 経営規模

区 分		年 度				
		21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	25 年 度
施 設	営 業 路 線 ( km )	457.3	459.8	460.7	450.5	414.0
	運 転 系 統 路 線 ( 本 )	284	289	288	285	271
	在 籍 車 両 ( 両 )	286	288	300	282	270
	平 均 車 齢 ( 年 )	14.6	14.7	14.9	15.6	16.0
業 務	年 間 走 行 キ ロ ( 千 km )	8,274	7,998	8,158	8,021	7,730
	一 日 走 行 キ ロ ( 千 km )	22	22	22	22	21
	年 間 輸 送 人 員 ( 千 人 )	15,670	15,193	15,382	15,732	16,081
	一 日 輸 送 人 員 ( 人 )	42,931	41,624	42,093	43,103	44,058
	年 間 輸 送 収 益 ( 千 円 )	3,395,623	3,343,471	3,370,918	3,271,332	3,249,485
	一 日 輸 送 収 益 ( 千 円 )	9,303	9,160	9,227	8,963	8,903

(注) 一般乗合分のみを記載した。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は、97.3%で前年度(97.4%)に比べ0.1ポイント低くなっている。

不良債務額については2億7,823万7千円生じており、前年度の5億4,310万4千円に比べ2億6,486万7千円(48.8%)の減となっている。[第14表]

第14表 収益的収支の状況

(単位：千円、%)

年 度 項 目		21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	25 年 度	増 減 率 (25/24)
総 収 益		4,299,006	4,388,114	4,329,365	4,101,236	3,960,550	△ 3.4
うち 営 業 収 益 (A)		3,442,034	3,387,750	3,409,825	3,312,177	3,290,431	△ 0.7
総 費 用		4,565,467	4,466,458	4,467,250	4,210,797	4,069,985	△ 3.3
純 利 益		20,468	49,424	20,986	127,599	74,220	△ 41.8
純 損 失 (B)		286,929	127,768	158,871	237,160	183,655	△ 22.6
累 積 欠 損 金 (C)		1,318,281	1,291,181	1,426,596	1,531,890	1,640,212	7.1
不 良 債 務 額 (D)		1,086,541	1,000,526	855,791	543,104	278,237	△ 48.8
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	8.3	3.8	4.7	7.2	5.6	
	(C) / (A)	38.3	38.1	41.8	46.3	49.8	
	(D) / (A)	31.6	29.5	25.1	16.4	8.5	
事 業 数 (E)		2	2	2	2	2	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		1	1	1	1	1	0.0
累 積 欠 損 金 を 有 する 事 業 数 (G)		2	2	2	2	2	0.0
不 良 債 務 を 有 する 事 業 数 (H)		2	2	2	2	1	△ 50.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
累 積 欠 損 金 を 有 する 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
不 良 債 務 を 有 する 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)		100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		94.2	98.2	96.9	97.4	97.3	

### (3) 資本的収支の状況

資本的収入は4億8,735万で前年度5億7,695万8千円より8,960万8千円(15.5%)減少し、資本的支出については6億1,058万4千円と前年度6億4,755万5千円より3,697万1千円(5.7%)減となっている。[第15表]

第15表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (25 / 24)	
		24年度	25年度		
資本的支出	建設改良費	418,188	310,420	△ 25.8	
	企業債償還金	142,554	181,311	27.2	
	その他	86,813	118,853	36.9	
	計	647,555	610,584	△ 5.7	
財源内訳	内部資金	70,597	123,234	74.6	
	外部資金	576,958	487,350	△ 15.5	
	うち	建設改良のための企業債	377,700	276,000	△ 26.9
		他会計補助金	82,650	119,588	44.7
		他会計借入金			
	財源不足額				
計	647,555	610,584	△ 5.7		

### (4) 資金繰りの状況

一時借入金は1億8,170万2千円で、前年度4億5,005万8千円より2億6,835万6千円(59.6%)減となっている。

また、流動比率(流動資産/流動負債)は50.0%で、前年度37.2%より12.8ポイント高くなっている。[第16表]

第16表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目	流動比率	一時借入金の状況	
			一時借入金	営業収益に対する割合
21年度		17.3	796,150	23.1
22年度		28.9	925,868	27.3
23年度		31.1	829,629	25.0
24年度		37.2	450,058	13.6
25年度		50.0	181,702	5.5

### 3. 病院事業

#### (1) 施設及び業務概要

平成25年度の病院数は25病院であり、その経営主体別の内訳は市が経営する病院が7病院、町が経営する病院が9病院、一部事務組合等が経営する病院が9病院となっている。〔第17表〕

25病院全体での病床数は4,795床(一般病床4,165床、療養病床295床、結核病床0床、精神病床321床、感染症病床14床)であり、病床利用率は72.7%で前年度を1.2ポイント下回っている。

病床利用率を規模別に比較すると、500床以上の病院が80%を超えているが、100床以上200床未満及び100床未満の病院では70%以下となっている。

延べ患者数については、年間入院延べ患者数127万9千人、外来延べ患者数235万3千人、合計で363万2千人となっている。〔第18・19表〕

第17表 施設及び概要

区分 病院規模	自治体病院数	経営主体		
		市	町	一部事務組合等
500床以上	2	2		
300床以上500床未満	3	1		2
200床以上300床未満	3	3		
100床以上200床未満	8	1	2	5
100床未満	9		7	2
計	25	7	9	9

第18表 患者数・病院数の推移

年度 項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
入院延患者数(千人)	1,397	1,407	1,379	1,320	1,279
外来延患者数(千人)	2,574	2,506	2,479	2,389	2,353
病床数(床)	5,148	5,059	5,007	4,849	4,795
病床利用率(%)	73.9	75.1	74.3	73.9	72.7
外来・入院比率(%)	184.3	178.1	179.8	181.0	184.0

第19表 病床の利用率

年度 規模	500床以上	300床以上 500床未満	200床以上 300床未満	100床以上 200床未満	100床未満	計
21年度	83.4	67.9	74.7	62.8	77.5	73.9
22年度	82.4	71.7	82.8	64.0	73.1	75.1
23年度	79.4	71.4	84.0	63.0	75.9	74.3
24年度	79.6	74.8	80.1	64.4	71.6	73.9
25年度	81.2	71.3	77.3	64.4	68.9	72.7

## (2) 収益的収支の状況

単年度収支では25施設中12施設で12億9,229万3千円の純利益を生じたが、13施設が合わせて38億9,282万7千円の純損失を生じ、累積欠損金は516億6,473万で、前年度488億7,054万9千円から27億9,418万1千円（5.7%）増となっている。

不良債務額は12億3,446万2千円で、前年度25億6,798万4千円から13億3,352万2千円（51.9%）の減となっている。

[第20表]

第20表 経営状況の推移

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増 減 率 (25/24)
		21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	25 年 度	
項 目							
総 収 益		87,222,090	91,461,625	94,783,688	91,473,184	90,905,675	△ 0.6
うち 医 業 収 益 (A)		77,841,918	80,670,273	80,303,803	79,652,524	79,916,544	0.3
総 費 用		89,160,104	91,671,487	92,233,436	90,712,975	93,506,209	3.1
純 利 益		939,521	2,082,304	5,065,369	2,740,293	1,292,293	△ 52.8
純 損 失 (B)		2,877,535	2,292,166	2,515,117	1,980,084	3,892,827	96.6
累 積 欠 損 金 (C)		56,922,733	57,245,774	53,623,195	48,870,549	51,664,730	5.7
不 良 債 務 額 (D)		11,609,451	8,496,816	4,593,260	2,567,984	1,234,462	△ 51.9
赤字額 等の医 業収益 に対する割合	(B) / (A)	2.8	3.1	2.5	2.5	4.9	
	(C) / (A)	71.0	66.8	61.4	61.4	64.6	
	(D) / (A)	10.5	5.7	3.2	3.2	1.5	
施 設 数 (E)		26	26	26	26	25	△ 3.8
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 (F)		15	12	12	12	13	8.3
累 積 欠 損 金 を 有 す る 施 設 数 (G)		23	24	22	19	19	0.0
不 良 債 務 を 有 す る 施 設 数 (H)		15	12	7	4	5	25.0
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 の 割 合 (F) / (E)		46.2	46.2	46.2	46.2	52.0	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 施 設 数 の 割 合 (G) / (E)		92.3	84.6	73.1	73.1	76.0	
不 良 債 務 を 有 す る 施 設 数 の 割 合 (H) / (E)		46.2	26.9	15.4	15.4	20.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		99.8	102.8	100.8	100.8	97.2	

### (3) 資本的収支の状況

資本的収入は241億4,006万2千円（前年度144億882万1千円）で、対前年度比67.5%の増、資本的支出も278億7,053万4千円（前年度176億1,009万3千円）で、対前年度比58.3%の増となっている。

財源内訳は、内部資金等補てん財源が前年度より16.8%の増、外部資金は企業債が67.5%の増、他会計出資金等の一般会計繰入金は90.0%の増となっている。〔第21表〕

第21表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (25 / 24)	
		24年度	25年度		
資本的支出	建設改良費	7,797,580	20,595,169	164.1	
	企業債償還金	9,778,600	7,137,544	△ 27.0	
	その他	33,913	137,821	306.4	
	計	17,610,093	27,870,534	58.3	
財源内訳	内部資金	3,147,615	3,676,812	16.8	
	外部資金	14,408,821	24,140,062	67.5	
	うち	企業債	6,544,400	7,955,000	21.6
		他会計出資金	4,014,140	9,358,021	133.1
		他会計負担金	2,085,499	2,208,703	5.9
		他会計借入金			
		他会計補助金	5,100	29,988	488.0
	調整項目				
	財源不足額	53,657	53,660	0.0	
	計	17,610,093	27,870,534	58.3	

### (4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は173.6%と前年度（150.1%）より23.5ポイント高くなっている。〔第22表〕

第22表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目 流動比率	一時借入金の状況	
		一時借入金	医業収益に対する割合
21年度	77.3	23,419,555	30.1
22年度	89.4	19,602,007	24.3
23年度	121.1	14,015,615	17.6
24年度	150.1	11,876,013	14.9
25年度	173.6	9,338,553	11.7